

# KONOMA 木の間通信

## ちいさな恋のものがたり みつはしちかこの世界 展

2016年 7月16日(土) ~ 9月25日(日)

●会場：萬鉄五郎記念美術館

### みつはしちかこ 握手会

●日時

9月4日(日) 午後2時から

※整理券が必要です。

(先着50名)

●配布期間

8月2日(火) 午前10時

~8月12日(金) 午後5時

●休館日

月曜日

(月曜が祝日の場合その翌日)

●開館時間

午前8時30分~午後5時

(入館は午後4時30分まで)

●入館料

一般 600(550)円

高校・学生 350(300)円

小・中学生 250(200)円

\*( )内20名以上団体料金



©Chikako Mitsuhashi

漫画家みつはしちかこの描く『小さな恋のものがたり』は、ちびの女子高生チッチとイケメンのサリーが織りなす淡く切ない恋心を描いた作品です。二人の純粋な片思いの物語は、青春の思い出として多くの読者の共感を呼び、画中に添えられた心に残る詩も大きな魅力となり今なお愛されています。その『小さな恋のものがたり』を中心に、原画370点により漫画家みつはしちかこの世界をたどる展覧会です。

# 杉村 英一 展 —平面と立体を往還する地の異彩

2016年10月1日(土)～11月27日(日)

●会場：萬鉄五郎記念美術館



杉村英一(1926-2004)は、盛岡の美術集団「集団N39」設立メンバーとして岩手の現代美術を牽引してきた作家の一人です。

本展では、没後初の多彩な表現を試みた杉村の大規模な回顧展として、油彩やドローイングなどの平面作品から、ステンレスや箱を使用した立体作品まで、その半世紀以上にわたる多様な作品群を紹介し、その全貌に迫ります。

●休館日 月曜日(月曜が祝日の場合翌日)

●開館時間 8:30～17:00(入館は16:30まで)

●入館料 一般500円、高校・学生350円、小・中学生200円

\*20名以上団体は各50円引き

杉村英一《作品6》1968年 ステンレス・アクリル絵具・ペニヤ

## 土澤アートクラフトフェア

アート作品・クラフト作品などクリエイターのお店280組が大集合!

●期日 2016年10月29日(土)30日(日) 10:00～16:00(最終日は15:30まで)

●会場 萬鉄五郎記念美術館前庭&土澤商店街

●問合せ先 土澤アートクラフトフェア事務局

岩手県花巻市東和町土沢5-405「キクヤ」内 ☎0198-42-2632 メール tuchizawa\_market@yahoo.co.jp  
ホームページ <http://artstsuchizawa.com/> ブログ <http://artstsuchizawa.blog.fc2.com/>

## 萬鉄五郎記念美術館 館長講座 — 絵画の見方とその歴史 — V

●期日 第3回 8月27日(土) 13:30～15:00 フランスが憧れた《北斎》

●場所 花巻市東和図書館 視聴覚室(花巻市東和町安俵6区90) ●受講無料

●講師 萬鉄五郎記念美術館館長 中村光紀 ●申込み先 萬鉄五郎記念美術館

(☎0198-42-4402)

## 喫茶「八丁土蔵」



萬鉄五郎の本家「八丁」にあった土蔵を移築復元した、ギャラリーと喫茶スペースです。自慢のオリジナルコーヒー「蔵」「八丁」を、ぜひ一度ご賞味ください。 営業時間：10:00～16:00(lo.15:30)

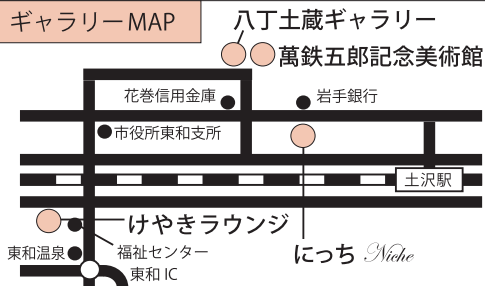
## 美術の街「土沢」 ギャラリー情報

萬鉄五郎記念美術館とあわせて「美術の街」土沢めぐりをしてみてはいかがでしょうか。

【8・9月の土沢イベント情報】

8月6・7日 土沢七夕まつり 9月17・18日 土沢まつり

### ギャラリーMAP



### 萬鉄五郎記念美術館 八丁土蔵ギャラリー

花巻市東和町土沢 5-135 萬鉄五郎記念美術館内  
9:00-16:30 月曜休(祝日の場合は翌日) 入場無料

iwate コンテンポラリーアート vol.5

### 金野 圭助 展 ～水面の詩～

7/16(土)～9/25(日)

一関市大東町摺沢出身。退職後再び絵筆をとり横浜や岩手の風景画を描く。



### Gallery Space けやきラウンジ

花巻市東和町安俵6-90 東和図書館内 tel.0198-42-3205  
10:30～18:00(最終日は16:00まで) 入場無料

### 阿部優子 展

8/1(月)  
～8/30(水)

風景や人物など油彩画十数点による展示。



### 鈴木すみ 展 こどもの庭

9/8(木)～30(金)

写真と描画を組み合わせた原画をもとに、凹版画の技法で刷った作品。



### 世界の雑貨とギャラリー にっち Niche

花巻市東和町土沢8-115 こっぽら土澤1階  
10:00～17:00 火曜定休 入場無料

### ラトビアの バスケット展

8/3(水)  
～8/15(月)

ラトビアの伝統工芸、ヤナギのバスケットなど。まさに「用の美」展示即売します。



### アイヌの治造展

8/31(水)～9/5(月)

1938年生まれの浦川治造さん。その人生を写真、木彫り、アイヌ衣装などで紹介。ご本人も滞在します。



## 蒸気機関車

萬鉄五郎のグラフィックデザイン画《鍋の里》は、東京から一時帰郷した「土沢時代」に、味噌醬油の老舗佐々長に頼まれて描いた土産品用の包装紙である。故郷土沢の町を見下ろした情景を軽やかな簡潔な線で描いている。その線の一つ一つがコミカルで、いま見ても粋なデザイン画になっている。右上の町はずれを、あたかも銀河鉄道のように天空を疾走しているような蒸気機関車が、黒い煙をなびかせ走っている。

この汽車は1913（大正2）年10月25日に、花巻から土沢まで開通したばかりの岩手軽便鉄道である。丁度萬が家族とともに土沢に戻った頃で、彼らも初めて通ったこの鉄道を利用したであろう。

岩手軽便鉄道は、県が財政難で設立を断念したのを受けて、1911（明治44）年10月、本社を花巻にして資本

金100万円で民間会社を設立し、金田一勝定（盛岡銀行頭取）、萬家や宮沢賢治の母の祖父も株主として参画している。そして松本竣介の父佐藤勝身も、新会社経営の事務を取り仕切ったという。竣介は二歳の時、父が林檎酒醸造業へ参画のため花巻に移り、小学校三年まで花巻で過ごしている。その当時、近所に住む盛岡高等農林学校を卒業したばかりの宮沢賢治が、父のもとへしばしば訪れたという。

軽便鉄道を題材に、宮沢賢治は詩『岩手軽便鉄道の一月』や童話『銀河鉄道の夜』などを創作した。土沢停車場はその銀河へ飛び立つ「銀河ステーション」となった。

ヨーロッパで最も早い時期に、蒸気機関車を描いたのがターナーで、晩年の名作が《雨、蒸気、速度》である。海景を得意としたターナーは船を無数に描いたが、汽車はこの一作だけである。激しい雨と霧の中、ロンドンの西、ブルーネル鉄橋上を疾走する機関車を正面にとらえている。すべてが自然のなかに溶け込み光を感じさせる。瞬時に

消えてしまう一回的風景、その大気のニューアンスこそが印象派の描き方を先取りしたと言える。この描き方にモネ、ピサロが強い感銘を受けた。彼らは普仏戦争を逃れてロンドンに渡りターナーの作品と出会う。後にモネの《印象・日の出》が生まれる。そしてモネは機関車の蒸気と煙のさまざまに変化する表情に魅せられて《サン・ラザール駅》12点の連作をした。

萬鉄五郎記念美術館長 中村光紀



萬鉄五郎《鍋の里（パッケージデザイン）》印刷・紙 1914年  
頃 萬鉄五郎記念美術館蔵



ウィリアム・ターナー 《雨、蒸気、速度—グレート・ウェスタン鉄道》1844年 油彩・画布  
ロンドン・ナショナル・ギャラリー蔵

萬鉄五郎記念美術館 岩手県花巻市東和町土沢 5-135 Tel.0198-42-4402 8:30am. ~ 5:00pm.

yorozu00@cocoa.ocn.ne.jp <http://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/501/503/p004177.html> 月曜休館（祝日の場合その翌日）

発行人／東和町土沢商店街商店会連絡会会長小原茂明